

のぼれ未来へ 緑の階段

令和3年5月21日(第2号)

校外学習「ほんもの体験」 ～必ずしおりをご覧ください～

4月の修学旅行説明会でお伝えしましたように、修学旅行を延期し、当初の実施予定期間中の5月26日(水)と27日(木)の2日間、日帰りで校外学習「ほんもの体験」を実施いたします。

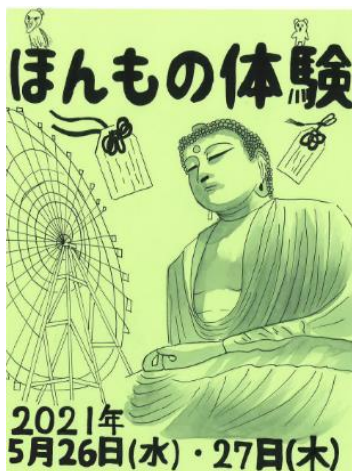
横浜・鎌倉の見どころを調べ、紹介するページを作成(発信)しよう

情報はネット上にあふれているけど

「ほんもの」を目の前で見て、聞いて、触れて

自分なりに感じたこと(これも「ほんもの」)を表現しよう

☆歴史や文化を感じるもの、新しいもの。どれもあるのが横浜・鎌倉



しおり完成!
ご家庭でもご指導を
よろしく願います。

みなとみらい地区には、家族や友人とよく行くし、鎌倉には、小学生の時に学年で出かけたという生徒もいますが、今までは体験しようとは思わなかったことや、見たことはあっても素通りしていたものなど、今回の体験を通して、自分自身をより広げてほしいと期待しています。班で活動しますが、学習はあくまでも個人単位です。一人ひとりが何を体験しに行くのか、しっかりと考えることが不可欠です。そして班のメンバーの学習に触れ、「そういう視点もあるのか」と気づき、さらに自分を広げることになるはずです。学校として班で活動することで、「いつもの横浜、行ったことのある鎌倉」ではなく、「深く思い出に残る横浜・鎌倉」になることを期待しています。

そのような学習のねらいをもって、生徒たちは体験場所を選び、各自の撮影ポイントを計画し、班でのコースづくりを行いました。コースとそれに伴う予算を記入したしおりを各家庭に持ち帰りますので、必ずご確認ください。

また、まだ気づいていない見どころなどがありましたら、アドバイスをお願いいたします。当日の状況によるコース変更は可能ですので、この機会を最大限に活用してほしいと思います。

校外学習「参加承諾書」を提出していただきありがとうございました。不参加の場合は自宅学習とし、「感染症への不安があるため」の場合は通常の欠席とは扱いが異なります。これは、通常の学校生活についても同様ですので、ご心配な場合は学校にご相談ください。

また、コロナ禍において修学旅行を延期するからには、コロナに負けない学校行事を考え、4月から今回の体験学習を計画してきました。横浜・鎌倉での体験の中には「名物などの飲食も可」として生徒たちは計画してきましたが、変異株による感染症拡大が勢いを増し、感染経路不明の割合が多数である今、**体験としての飲食は不可**とします。これは、水分補給や塩分・糖分補給を禁止するものではありませんので、各自で周囲の状況を考えて判断し、適切に行ってほしいと思います。つきましては、しおり8ページ【先生から】を次のように訂正します。

① 水分補給や塩分・糖分補給をする場合

ア 直接、手で触らずにすむもの。一口サイズがいいですね。

イ **交換禁止**。量は自分で考えて。

ウ マスクを外して、歩きながら、おしゃべりしながら…はあり得ません。

要するにTPO。「コロナ禍」という Occasion「場面」でどうふるまうか。

周りを見てサッとすませ、班の予定に影響が出ないように。

② ~~もし、飲食店で体験する場合~~

~~ア マスクを外している時にリスクが高まります。学校生活より慎重に！~~

~~イ お店の感染症対策を確認した上で！~~

○消毒 ×対面 ○シールド ○直接、手で触らない ○黙食 など



生徒たちは、体験中の様々な場面を想定して、マナーや注意することについて話し合いました。日頃から登下校や学校生活で気をつけていることをベースに、「○○の場合はどうする?」「◇◇って大丈夫?」など、校外学習ならではの視点でアイデアを出し合い、係を中心に検討し、各クラスで確認しました。そういった生徒たちの手作りの「約束」がしおりに載っていますので、ぜひご覧ください。

ICT 機器の活用

今年度から生徒一人に1台の端末が整備され、3学年では早速、「ほんもの体験」の事前学習で活用することができました。長所は何といてもスピード感です。一人ひとりが自分のペースで調べることができるので、資料の順番待ちをすることがなく、検索をかければすぐに知りたい情報にたどり着くことができます。



しかし、実際に班で体験するコースを決めるには、調整力が必要でした。コース完成までに予想以上に時間がかかった班は、情報を入手するスキルより、意見を積極的に出し合いながら調整していくスキルについて振り返り、今後の学習に活かしてほしいと思います。